

経営比較分析表（令和6年度決算）

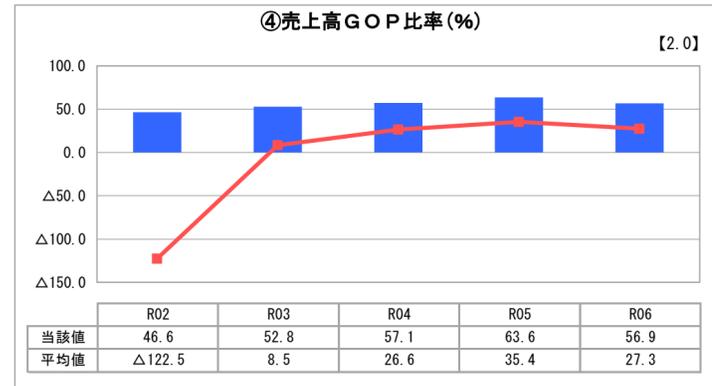
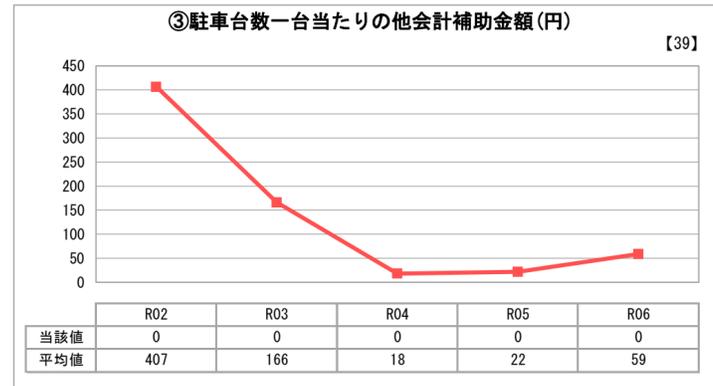
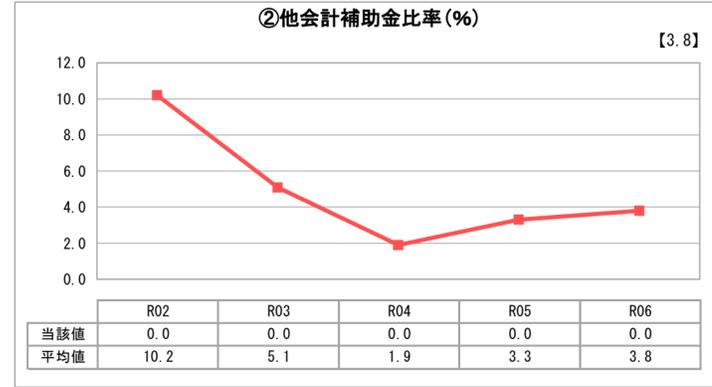
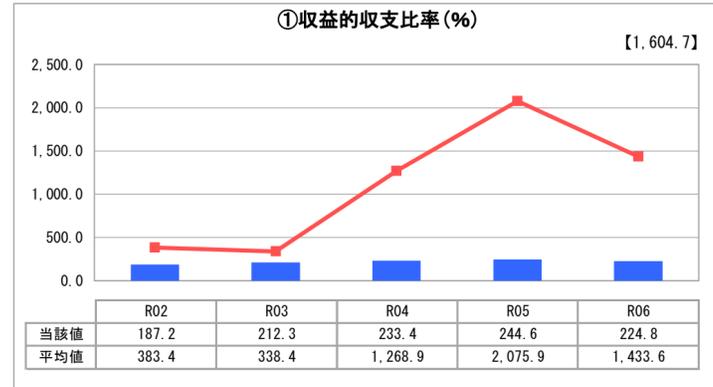
北海道恵庭市 恵庭駅東口駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	17	

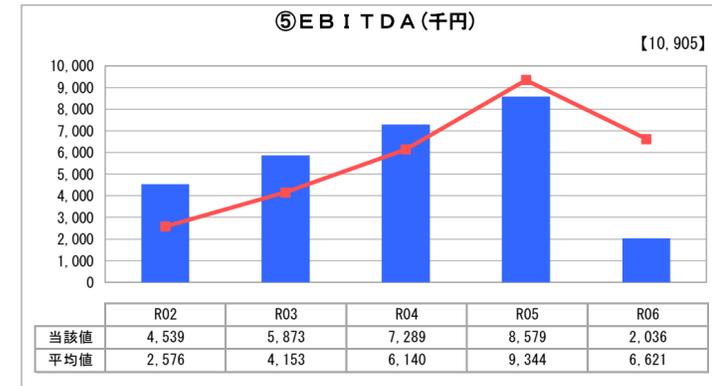
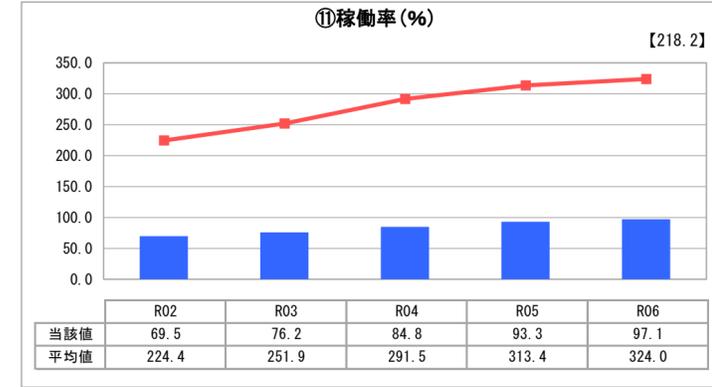
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	1,328
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
102	100	利用料金制

グラフ凡例
■ 当該施設値(当該値)
— 類似施設平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

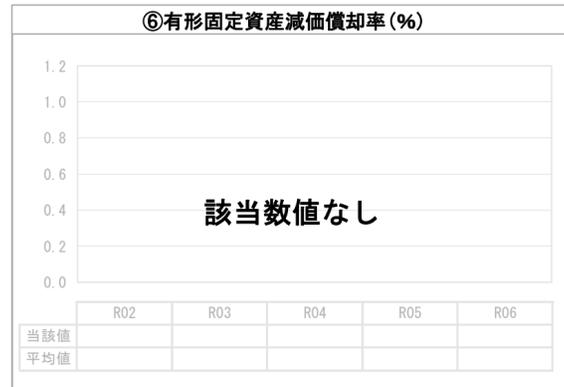
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

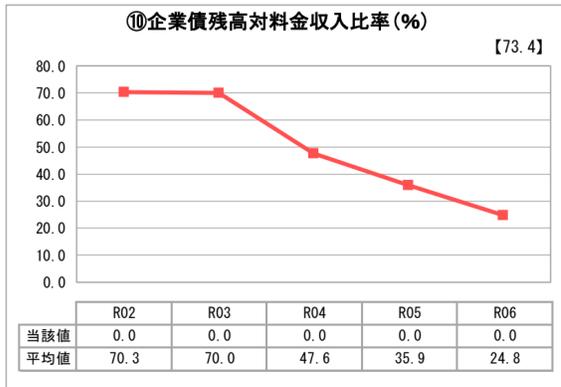


⑦敷地の地価(千円)

64,503

⑧設備投資見込額(千円)

29,023



分析欄

1. 収益等の状況について
 快速列車が停車するJR駅に隣接しており、令和6年7月より指定管理者制度を導入し駐車場入庫ゲート及び精算機の入れ替え工事を実施したため、工事期間中の無料開放に伴い収益的収支比率は前年度より若干減少したものの黒字であり、利用台数は増加している。指定管理者制度への移行後は指定管理者の独立採算による管理運営となり、市から指定管理者への指定管理料の支出は要しません。
 本駐車場の平日の利用はJR通勤者が大半を占めており、長時間駐車と満車状況による駐車場の利用回転率の低さが課題となっています。
 EBITDAは令和6年度減少しましたが、これは7月より指定管理者制度に移行し運営を指定管理者が市からの指定管理料を受けず独立採算で行っていることに起因しているものと考えられます。

2. 資産等の状況について
 当駐車場は平成19年度に整備した青空駐車場であり、固定資産は土地です。
 土地についてはJR駅近接という立地条件上、地価は非常に高いものとなっています。
 企業債残高対料金収入比率は整備分の借入は既に償還が終わっており、また一般会計等の負担もないことから、ゼロとなっています。

3. 利用の状況について
 当駐車場は快速列車が停車するJR駅に隣接しており、JR通勤者の利用が高い施設のため、長時間駐車傾向が高く、かつ平日は朝から慢性的な満車状態にあるため、駐車場利用者の需要に応じきれない状況にあります。

全体総括
 当駐車場は快速列車が停車するJR駅に隣接する立地状況にあることから、JR通勤利用者が多く利用しており、平日は朝より慢性的な満車状態にあり、長時間駐車が多くを占めていることから、夕方近くまで満車状態の傾向にあります。
 駐車需要を適宜把握しつつ、指定管理者と駐車台数の拡充を検討しています。